

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		アフタースクールわんぱく						公表日	2025年 2月 1日		
		利用児童数				23	回収数				21
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100					広さは十分だが、個別のスペース等、工夫改善の余地あり。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	95	5			送迎時にも2人ついて来て下さって、手厚く安全を確保して頂いている。	安全を第一に考えた配置人数で支援を行っている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100					・構造化を工夫して過ごしやすい環境となるよう努力している。 ・バリアフリーである。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100					活動前後は清掃や消毒を行っている。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	95	5			子どもに合わせた理解ある対応に感謝しています	日々の子どもの様子を丁寧に観察し、個々の特性に応じた支援を行えるよう努力している。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95	5							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100				相談支援員から、親が望む支援、子どもが今向き合っている課題を職員の中で共有して下さり、支援されていると報告された。	保護者の希望、ケース会議等で話し合った課題を基に作成している。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100					利用者の日々の様子や保護者の希望、学校等関係機関との情報交換を踏まえ、できるだけ具体的な支援内容を設定している。			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95	5				職員全体で支援内容について確認しながら共通認識の上で支援できるよう努力している。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100					複数名がプログラム作成に関わることで、同じ目的でも多様なアプローチができるよう工夫している。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	50	45		5	・交流は特に望んでいない。 ・コロナが落ち着き、少しずつ復活するかと思う。	地域の施設や公園に出かけることで、偶発的な交流がある。間接的な交流はしている。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100					契約時に行っている。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100					契約時及びモニタリング時に行っている。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100				ほかの保護者とも話すことができとても良い体験。	ペアレントトレーニングは主に思春期の悩みについての内容で行った。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	95			5		日常的には連絡帳や電話、メール等を通じてできるだけ伝えるようにしている。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100					定期的にモニタリングを行っている。それ以外でも何かあれば相談を受けられるようにしている。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100				相談支援員から、支援に愛情を感じましたと言われ、多くの方に支えられて過ごしていることに感謝している。	常に共感的な支援を心がけている。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	95	5				保護者会は年1回以上行っている。きょうだいの支援については夏まつり等行事への参加や保護者を通じて相談事を聞き、助言させていただいている。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	95	5				日頃から相談や申し入れがしやすいような雰囲気を出している。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100					利用者とは日々活動や遊びを通じて関わり多様な意思表示を受け止められるよう心掛けている。保護者とは連絡帳、メール、LINE等多様なツールで情報が速やかに伝達できるよう配慮している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100				写真付きのおたよりは紙・インク代の節約のためLINE等でも構いません。	1ヶ月に1回を目安に日々の活動や行事の様子をおたよりで伝えている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100					十分気を付けている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100					保護者に配布している。保護者会等で繰り返し説明の機会を持つことで忘れないようにしたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100					1ヶ月に1度避難訓練を行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95	5				安全に過ごすことを最優先としている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100					小さな怪我でも報告するようにしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100					安心して過ごせる場所であることを常に心がけている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100					一人一人が好きな事、楽しめることは何か、を常に模索している。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100					職員全体で日々の支援を振り返り、よりよい支援を目指し努力している。